

### 【今週の注目疾患】

#### インフルエンザ

2016年5週の県全体の定点当たり報告数は、4週の29.16から大きく増加し44.91となった。今後の流行状況に注意が必要である。

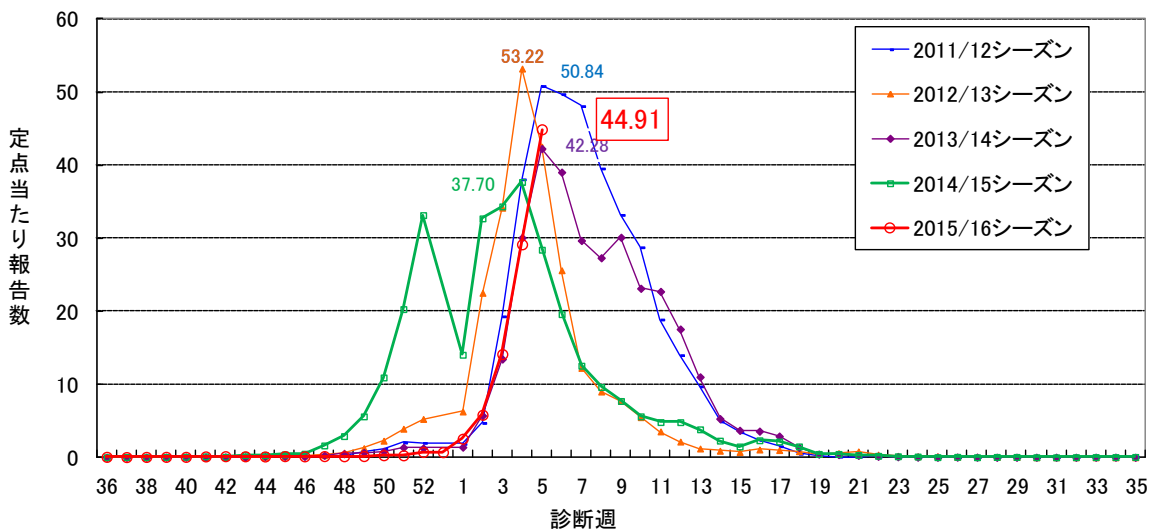
保健所別では、16保健所中全ての保健所管内で増加し、13保健所管内で国の定める警報基準値(30)を超えた。松戸(56.76)、市原(53.45)、印旛(53.42)、君津(51.08)、船橋市(50.59)、習志野(50.38)、千葉市(46.21)で多かった。

2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合は、5～9歳が36.6%、0～4歳が18.0%、10～14歳が15.5%であった。

2015/16シーズン全体の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、20,018例中A型14,530例(72.6%)、B型5,349例(26.7%)、A and B型42例(0.2%)、A or B型97例(0.5%)であった。

平成27年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)  
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

